

わかさ 議会だより

緑と清流のまち

第187号

令和6年

8月号

WAKASA TOWN

若き起業家



議会事務局のアドレスへ

藤原みそこうじ店
みそソムリエ

けいじ
藤原 啓司さん

P2～3
P4～5
P6～9
P10～13
P14
P15

令和6年度 一般会計補正予算
審議・討論
一般質問
常任委員会報告(抜粋)
所管施設等視察
空家バンク視察

P16～17
P18
P19
P20

議会基本条例に基づく検証
人口減少問題調査特別委員会報告
議員座談会開催日程(案)
わたしの想い(本田さん)

活性化へ

企画政策課

若桜鉄道対策事業
93万円
(内) 43万円



12系車両

○若桜駅構内に保管している12系客車(ブルートレイン)の塗装に損傷が見られるため簡易的な補修を行うもの。※13ページ参照

12系客車の
補修(塗装)は
ボランティアで

利用者増大に
期待

第4回

6月定例会

(令和6年6月11日～14日)

令和6年度
若桜町一般会計
補正予算(第2号)

5843万円
追加し

総額

45億532万円

補正項目は一部の掲載となっています。

経済産業課

氷ノ山高原の宿氷太くん
管理運営事業
112万円



氷ノ山グラウンド

○グラウンドのさらなる利用促進を図るため、サッカーゴール(一般・ジュニア用)を整備するもの。

人と人との交流

令和6年第3回若桜町議会臨時会

(令和6年4月26日)

令和6年度一般会計補正予算(第1号)

教育委員会

若桜学園管理費
4500万円



若桜学園グラウンド

○グラウンド表面の良質真砂土が強風で飛散し、滑りやすい状況になっており、使用する児童生徒及び町民の方の利用に支障をきたしているため、グラウンド全面の改修を行うもの。※12ページ参照

5089万円追加

総額

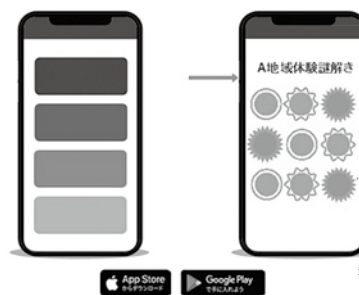
44億4689万円

グラウンドを
安全に

町内に
アプリで
にぎわいを

経済産業課

観光事業費
430万円



観光アプリ
(イメージ)

○観光アプリを活用し、町内を周遊する仕掛けづくりを行い、賑わいの創出と地域内消費の拡大を図る。また、多様化する観光客へのニーズに対応するため。※11ページ参照

条例	若桜町水道法施行条例の一部改正 水道法等による権限を厚生労働大臣から国土交通大臣及び環境大臣に移管したことによる、改正を行うもの。	可決	
	若桜町簡易水道布設地区負担金賦課徴収条例の一部改正 水道法等による権限を厚生労働大臣から国土交通大臣及び環境大臣に移管したことによる、改正を行うもの。	可決	
陳情・請願	日本政府に核兵器禁止条例の参加・調印・批准を求める請願	委員会審査結果 不採択	不採択
	地方財政の充実・強化を求める陳情	委員会審査結果 採択	採択
議案提出	地方財政の充実・強化を求める意見書	可決	



原案に対して 賛否の分かれた議案

第4回議会定例会

6月11日～14日

原案に対して
「○」賛成、「×」反対
「議」議長（採決は議長を除く）

陳情

氏 名	谷口 貴	森田 一郎	梶原 明	山本 安雄	山本 晴隆	川上 守	中尾 理明	小林 誠	山根 政彦	結 果
日本政府に核兵器禁止条例の参加・調印・批准を求める請願	×	○	×	○	×	×	○	×	議	不採択

原案賛成 中尾理明

戦争激化の中、ウクライナやパレスチナでは、核使用の脅威にさらされています。122か国の賛成で成立した核兵器禁止条約は、今その重要性が高まっており、条約への日本政府の参加を強く求めるものです。



全員協議会の様子

一目でわかる 審議結果

第3回議会臨時会

4月26日

処 専 分 決	令和5年度若桜町一般会計補正予算（第9号）	承認
	911万円を追加し、歳入歳出予算をそれぞれ44億6147万円とする。	
予 補 算 正	令和6年度若桜町一般会計補正予算（第1号）	可決
	5089万円を追加し、歳入歳出予算をそれぞれ44億4689万円とする。	
条 例	若桜町長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部改正	可決
	公金事務の私人への委託に関する制度の見直しに伴い、条例において引用する同法及び同施行令の条文に条ずれが生じることから、所要の改正を行うもの。	
そ の 他	工事請負契約の締結	可決
	工 事 名 樹水スノーピア第1ペアリフト整備工事 契約の相手方 安全索道株式会社 契 約 金 額 6204万円	
	若桜町固定資産評価員の選任	同意
	山本賢一さんを選任するもの。	

第4回議会定例会

6月11日～14日

専 決 処 分	若桜町税条例の一部改正	承認
	地方税法等の一部を改正する法律が公布されたことに伴い、条例の一部を改正するもの。	
	若桜町国民健康保険税条例の一部改正	承認
	地方税法等の一部を改正する法律及び地方税法施行令の一部を改正する政令が公布されたことに伴い、条例の一部を改正するもの。	
補 正 予 算	令和6年度若桜町一般会計補正予算（第2号）	可決
	5843万円を追加し、歳入歳出予算をそれぞれ45億532万円とする。	
	令和6年度若桜町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	
	14万円を追加し、歳入歳出予算をそれぞれ6億8114万円とする。	
条 例	令和6年度若桜町簡易水道事業会計補正予算（第1号）	可決
	608万円を追加し、収益的収入及び支出の予定額は、それぞれ1億2807万円と定める。	
	令和6年度若桜町下水道事業会計補正予算（第1号）	
	17万円を減額し、収益的収入及び支出の予定額は、それぞれ2億4567万円と定める。	
	若桜町職員の給与に関する条例の一部改正	可決
	再任用職員の期末手当・勤勉手当を再任用職員以外の職員と均衡させるもの。 総務省からの職員派遣に伴い所要の整備を行うもの。	
	若桜町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	
	児童福祉施設の設備及び運営に関する基準及び家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準が改正されたことに伴い、所要の改正を行うもの。	
	若桜町介護予防施設の設置及び管理に関する条例の一部改正	可決
	若桜町介護予防施設「ゆうゆうわかさ」について教育委員会に所管換えとなったため、所要の改正を行うもの。	
	若桜町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正	可決
	配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの。	

質問議員 ページ	質問事項	
梶原 明 P. 7	①	デマンド便
	②	単身者向け住宅
森田 二郎 P. 8	①	フレイル予防 ※フレイルとは 加齢によって筋力や心身の働きが 低下して「要介護」状態に近づい てきた状態
中尾 理明 P. 9	①	介護保険制度
	②	人口減少に打ち克つまちづくり
	③	若桜鉄道構内の跨線橋



本 会 議 場

- ・各一般質問の主な内容を各議員が要約して掲載しています。
- ・一般質問の全ての内容については、スマホ、タブレット等でQRコードを読み込むと、ご視聴になれます。

一般質問とは

議員が町の行財政全般、住民生活に密接していることに対して、執行状況または将来の方針、政策的提言や行政の課題などを町長や執行機関に直接質すことです。

一般質問

町政を問う



デマンド便車両

Q 定時運行路線バスの減便対策や、デマンド便の稼働率向上、利用者の利便性向上のために、AIオンデマンド配車システム導入の検討をされ

A (町長) 予約については、特段問題は生じていません。しかし、デマンド

ではと考えます。所見を伺います。



梶原 明

デマンド便

Q 定額運賃を設定しては

A 地域公共交通会議等で検討

便の利用者数は年々増加傾向にあり、令和5年度は対前年度の1.3倍に増えています。加えて、若桜町公共交通計画に基づき、オンデマンド化を進める方針の下で、今後、定時便の減便を進めれば、デマンド便の予約増加も想定されることから、台数を増やすことも、検討する必要があります。将来的に予約が増え、台数も増えた場合には、輸送可能人員の最大化や、効率化を追求するために、AIシステムの導入も、有効な手段として検討に値すると考えています。

将来的には、若桜町に合った形でAIシステムを、検討したいと考えています。

Q デマンド便に定額運賃を設定すれば、利用料金を気にすることなく、町内を移動できるようになると考えます。さらに、日頃移動手段がない方でも、気軽に外出するきっかけになると考えます。所見を伺います。

A (町長) デマンド便は、現在2台で運行しています。近年は、免許返納を行う方も多く、利用者は増加傾向です。1か月乗り放題で利用できる定額運賃制を設定すれば、議員指摘の効果があると考えます。一方で、定額運賃制の設定により、利用回数が増加すると、今の運行体制では、対応し切れ

なくなり、増車やドライバの確保に、検討が必要となると思われます。まずは、試行的な導入も含め、委託事業者と相談し、若桜町地域公共交通会議等で、検討してみたいと思います。



若葉団地若者住宅

Q 単身者向け住宅を建てる検討はされたのか、伺います。

A (町長) 現在予定しています。新町の宅地造成地に、単身者向けも含めた賃貸物件の整備について、検討したいと思っています。



森田二郎



フレイル予防

Q 早期の予防対策は

A 地域・関係機関と
一体で取り組む

Q は、2060年
に高齢者の2・8人に
1人が、「認知機能に
障がいがある状態にな
る。」となっています。
認知症や介護を要する
高齢者数を、抑える早

期
の
予
防
対
策
が
必
要
と
考
え
ま
す。
所
見
を
伺
い
ま
す。

A (町長) 各種介
護予防教室や、
認知症地域支援推進
員・認知症初期集中支



体力づくり教室

Q フレイル予備
軍とされる60歳
以下、40〜50歳代への

援チームによる相談支
援、当事者と家族の集
い「虹のカフェ」、検
診事業、安心見守り事
前登録事業やGPS機
器導入費用への助成等
をしています。フレイ
ル予防と、フレイル状
態からの脱却のため
に、栄養、運動、社会
参加を意識して取り組
んでいます。地域の取
組も重要で、住民主体
のサロン活動への支援
や、池田地区には、4
月から集落支援員を配
置して地域と一体で取
り組んでいます。

啓発や働きかけも、急
務と考えます。今後の
取組について伺いま
す。

A (町長) 昨年度、
健康ポイント事
業への参加申し込み者
の8割が高齢者で、40
〜50代は2割弱と参加
が少ないのが現状で
す。町の情報を受信、
確認できるアプリケー
ション配信を整備しま
した。今後も様々な方
法で、若い世代の啓発
に努めていきます。

Q 福祉保健課や
包括支援セン
ターと、教育委員会部
局や他部局が、連携し
た取組について伺いま
す。

A (町長) ボラン
ティア活動等、
人がつながる活動を健
康ポイントの対象に
し、認証に、スマート



池田がんばる教室

Q 鳥取大学の医
学部と連携し
て、フレイル予防の取
組を体系化してはと思

フォンプリを活用し
て、若い世代の方にも
興味を持ってもらう取
組も、他部局や関係機
関と連携して検討した
いと考えています。

いますが、考えを伺
います。

A (町長) 鳥大医
学部は、フレイル予防にも
貢献されています。ど
ういった形が可能か相
談をしたいと思いま
す。



駅舎側からの景観

Q 若桜鉄道構内の
跨線橋について
どのように進められ
ていますか。

A (町長) 「若桜
駅」と「道の駅
若桜」は、隣接してい
るにも関わらず、往来
するには、遠回りする



中尾理明

跨線橋計画

Q 計画を
一度立ち止まって
パブリックコメントを
実施

Q 5月25日の日
本海新聞に、日
本鉄道保存協会事務局
長の米山淳一さんが、

必要があり、観光客に
分かりにくいという声
も出ています。若桜駅
と道の駅を結び、円滑
に移動でき、町民はも
ちろん観光客も駅前や
宿内、道の駅等いずれ
の施設も、訪れやすく
なるように跨線橋を整
備するものです。現在、
バリアフリー対策等概
略設計の内容を詰めて
おり、その後パブリッ
クコメントで、町民の
意見も聞いた上で、詳
細設計を発注する予定
です。

「若桜鉄道の歴史的景
観保存と活用」につい
て、投稿されました。
「若桜駅構内は林業の
繁栄を物語る貴重な文
化遺産。歴史的景観を
阻害するものはいらな
い」と述べています。
この意見について、ど
のように考えられます
か。

A (町長) 米山淳
一先生には、若
桜鉄道の歴史的・文化
的価値の全国発信、構
内のディーゼル機関車
誘致等に尽力いただ
き、町づくりにも多大
なご貢献をいただいて
います。跨線橋は歴史
的景観を阻害するとの
否定的な投稿をされた
ことは重く受け止めて
いますが、出前町長室
では、多くの町民の方
から期待の声をいただ
きました。今、「オー
トバイ神社」の集客効
果により、跨線橋の意

Q 過去に迎賓館
の運用の問題、
コンビニ問題など、町
が揺れた時期がありま
した。そういう事業の
1つにならないか、懸

義も高まっています。
米山先生の主旨であ
る、景観の保全にも配
慮の上、計画を進めた
いと考えています。



道の駅側からの景観

念するものです。一度
立ち止まって、多様な
意見に耳を傾けるべき
ではありせんか。

A (町長) 色々な
意見があると思
います。基本は、町民
の皆さんの考えです。
パブリックコメント
で、町民の意見に耳を
傾けたいと思います。

委員会報告（抜粋）

総務課

総務省より職員派遣

説明

地方創生に積極的に取り組む市町村に対し、意欲と能力のある国家公務員、大学研究者、民間専門人材を市町村長の補佐役として派遣する制度。

意見



役職は。



政策統轄官で採用予定。



派遣の期間は。



2年間を予定。

総務省から

人口減少対策など
各課横断的な重点課題に対応

常任委員会開催日

第4回 4月15日 月曜日 定例常任委員会

- ・ 4月臨時会上程予定の議案について
若桜学園グラウンド改修工事
スマートフォンを活用した、これからの
周遊・集客促進アプリ

※P11、12参照

第5回 4月26日 金曜日 月例常任委員会

- ・ 空家バンク登録物件の視察

※P15参照

第6回 5月15日 水曜日 月例常任委員会

- ・ 観光商工室視察
- ・ (株) ウッディ若桜の視察
- ・ 池田小学校家庭科室の視察
- ・ 寄来屋の視察
- ・ 若桜簡易水道の新配水池の視察
- ・ 大野橋の視察
- ・ 吉川小学校線の視察
- ・ 三百田邸住宅の視察
- ・ 若桜町ふれあい交流センターの視察
- ・ 生涯学習情報館の視察
- ・ 若桜学園グラウンドの視察
- ・ こども園の視察

※P14参照

第7回 5月29日 水曜日 月例常任委員会

- ・ 空家バンクに関する意見について

第8回 6月4日 火曜日 定例常任委員会 6月5日 水曜日

- ・ 6月定例会上程予定の議案について
総務省より職員1名派遣について
氷ノ山高原の宿氷太くん管理運営事業
(サッカーゴール購入)

○意見の標記

Q : 質問・質疑 A : 回答

O : 意見

総務産業教育民生常任

スマートフォンを活用した、これからの周遊・集客アプリ

企画政策課

説明

- ・地域と人の賑わいを創出させる。
- ・プラットフォームアプリを利用することで、開発が短期間で経済的。
- ・インセンティブの提供も自由自在に設定可能。
- ・参加した方の属性分析が正確。
- ・現地確認機能付き。
- ・体験型謎解きができ、興味・関心・話題性で集客を図る。
- ・ワクワクをプラスして周遊でき、自然に滞在時間が長くできる。
- ・謎解きスポットは、最大20カ所程度。
- ・言語は日本語と英語に対応したものを考えている。
- ・秋ごろに稼働したいと考えている。

意見

Q 430万円の導入費だが、年間の経費は。

A 約30万円。

Q 対応言語は、日本語と英語でよいのか。

A 予算の事も含め、今後状況をみながら台湾語なども考えたい。

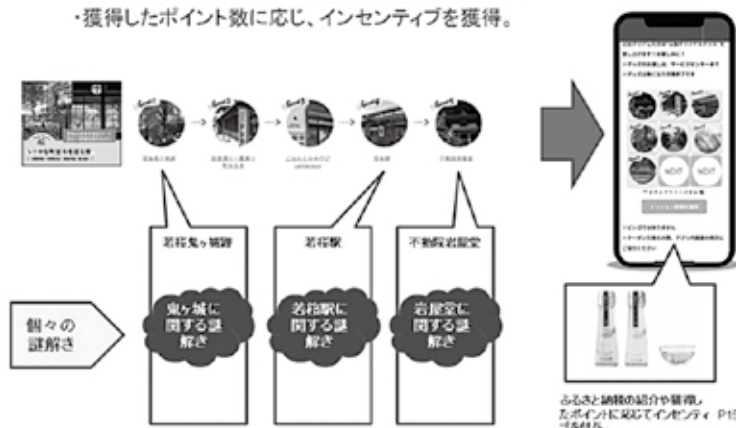
Q 謎解きクイズは、こちらで考えるのか。

A こちらで考え、企業側へ伝える。

賑わいを創出

体験型謎解き方式

- ・謎解きをしながら、スポットを周遊する。
- ・謎解きをすることで、スポットの知識を深める。
- ・あまり知られていないスポットの紹介も可能となる。
- ・獲得したポイント数に応じ、インセンティブを獲得。



アプリのイメージ

委員会報告（抜粋）

安全な グラウンドへ

若桜学園グラウンド整備

教育委員会

説明

若桜学園のグラウンドは、若桜中学校の移転に伴い平成12年に造成され、24年が経過しグラウンド表面の真砂土が強風により飛散し、下層の真砂土が露出してザラメ状となっている現状にある。

滑りやすく、怪我をしやすい状況になっているなど、グラウンドを使用する児童生徒をはじめ、町民の方の利用に支障をきたしているため、改修工事を行う。

意見



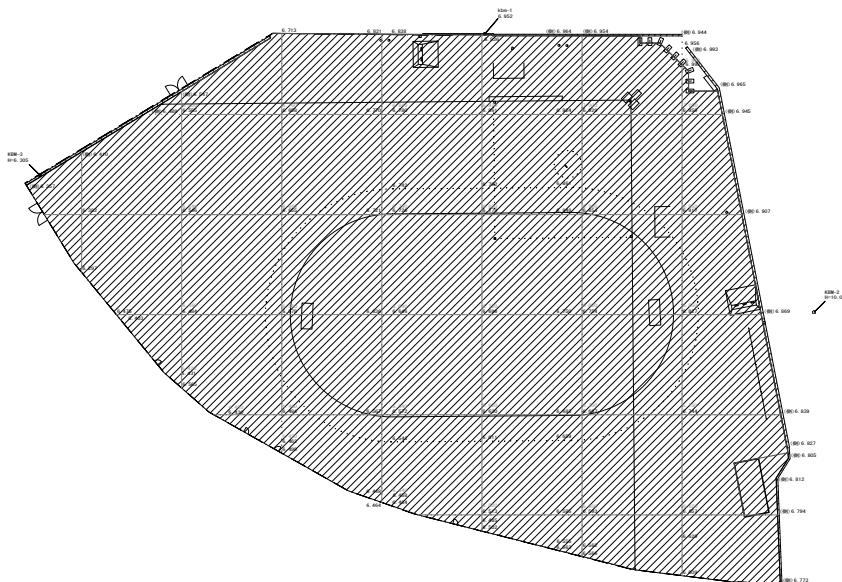
表面処理の化粧砂は、2センチで大丈夫なのか。



表面処理剤と化粧砂を混ぜて、仕上げに転圧を行うので、大丈夫だと聞いている。



全校あそびの様子



○意見の標記

Q : 質問・質疑 A : 回答

O : 意見

総務産業教育民生常任

12系客車塗装

経済産業課

説明

若桜駅構内に保管している12系客車（ブルートレイン）の経年変化による塗装の損傷が見られる。今後、本格的な改装を行う可能性もあるが、その間の客車の保全のため、簡易的な塗装を行う。

意見

Q 補修費用が、少ない理由は。

A 作業はボランティアで行い、足場と塗料代、保険料等の費用なので。

Q ボランティアの集め方は。

A 公募で行う。

Q DLを使って走らせるだけではなく、金が稼げることも平行して計画をして欲しい。

A お金の落ちる仕組みも合わせて検討していきたい。

早期補修を



塗装が傷んだ客車

所管施設等視察 令和6年5月15日水曜日

- ・ ウッディ若桜の製材・加工用機械等の視察



長尾社長より説明を受ける。

- ・ 旧池田小学校家庭科室の視察



加工食品が製造出来るように改修したい。

- ・ 若桜簡易水道の新配水池の視察



設置された560 t タンク。

- ・ 吉川小学校線の拡幅工事状況の視察



今年度中に完成予定。

- ・ 観光商工室の視察



Sマート2階に新しく設置。
観光客の動向がわかり、今後に期待。

- ・ 寄来屋の視察



ホール照明をLED化。

- ・ 大野橋の改修状況の視察



6月28日までの工事期間。

その他に

- ・ 三百田氏住宅の茅葺屋根の改修状況
- ・ 若桜ふれあい交流センターのカーポート破損状況
- ・ 生涯学習情報館裏の柵の状況
- ・ 若桜学園グラウンドの状況
- ・ こども園の外壁工事完了状況を視察しました。

総務産業教育民生常任委員会視察レポート

空家バンク視察 令和6年4月26日金曜日

- ・移住・定住促進にむけて、空家バンクに登録されている8件の物件を視察しました。



視察の様子

- ・その他、各物件の内装。



(空家バンクの資料より)



- ・若者の「移住・定住」を考えるのであれば、若者向けアパート等も考えるべきだと感じました。

空家バンク登録物件・所管施設等の現地視察

検証を行ないました。

令和5年度議会基本条例に基づく議員検証結果

令和6年6月検証実施

☆最高40点 ☆最低23点 平均29.5点（40点満点中）（昨年度 ☆最高33点 最低23点 平均27.8点）

※議員個々で自己評価したものです。

（単位：人数。（ ）内は前年数値）

質 問		4 よくできた	3 できた	2 あまりできていない	1 まったくできなかった	平均 点
1	町民の信頼に値する高い倫理観に徹し、品格と見識を養い、清廉潔白な言動に努めたか。	1 (0)	8 (8)	0 (0)	0 (1)	3.1 (2.8)
2	政治活動において、議員の職責を逸脱しないよう努めたか。	2 (1)	5 (7)	2 (1)	0 (0)	3.0 (3.0)
3	自主的に研修に努め、見識を高めたか。	1 (0)	3 (3)	5 (5)	0 (1)	2.6 (2.2)
4	個別な事案の解決だけでなく、町民全体の福祉の向上を目指し活動できたか。	2 (1)	3 (4)	4 (3)	0 (1)	2.8 (2.6)
5	議会審議において、議員と町長等執行部機関及びその職員との関係は、緊張感の保持に努めたか。	2 (2)	4 (4)	3 (3)	0 (0)	2.9 (2.9)
6	議会が言論の府であること及び合議制機関であることを十分に認識し、積極的に意見を述べたか。	3 (2)	5 (5)	1 (1)	0 (1)	3.2 (2.9)
7	政策立案能力を高め、政策の提言、提案の拡大に努めたか。	1 (0)	5 (4)	3 (4)	0 (1)	2.8 (2.3)
8	自分の職責である仕事を他に転嫁せず、自らが責任をとるという態度で行動できたか。	3 (3)	5 (5)	1 (1)	0 (0)	3.2 (3.2)
9	職務に関する新しい知識や情報に強い関心を持ち、日頃から広く情報を収集し、活用できたか。	1 (0)	6 (7)	2 (2)	0 (0)	2.9 (2.8)
10	自己中心的な言動によって同僚議員との信頼関係を損なわないよう、良好な雰囲気づくりに努めたか。	2 (2)	5 (6)	2 (1)	0 (0)	3.0 (3.1)
合 計 （最高 40点）						29.5 (27.8)

議会基本条例に基づく

検証について

若桜町議会基本条例は、「若桜町議会議員政治倫理に関する決議」に基づき、議会運営及び議員に係る基本事項を定め、活力ある豊かな地域づくりと町民の福祉向上に資することを目的として平成21年9月に制定されました。この検証は、同条例第18条（※）の規定により、令和4年度同様、令和5年度も議員倫理などをはじめ議員力の向上や議員の自己改革促進を重視した10の評価項目に対し、自己評価を実施したものです。併せて、「議会活動・議員活動・日頃感じていること」を各自が議長に提出し、議員の資質向上のため議会改革調査特別委員会において協議を積み重ね、議会全体としての共通認識を深めてきたところです。検証の結果を議長の総評によりまとめましたのでお知らせします。

（※）第18条 議会は、毎年議会運営及び議員活動がこの条例に即しているか、検証しなければならない。

検証結果について

令和5年度の平均点数29.5点で、令和4年度の27.8点と対比して1.7ポイント高くなり、平均点を上回る議員が3名あった。また、個人の合計点数は、昨年度と比較して2点以上上昇した議員が2名、1点以上下降した議員が2名いる。さらに、質問項目においては、今年度平均点と前年度平均点を比較したところ、問1、問3、問4、問6、問7、問9において平均点がすべて上昇、問10は下降した。他の問いについては同じ数値であった。

検証総括

若桜町議会議長 山根政彦

このたびの検証では、昨年度と比べ全体の平均点が上がっているのは、議員一人一人の意識が変わってきている状況と感じています。これからも、住民に開かれ、分かりやすく、活動する議会を目指し、議会改革を進めていきたいと思っています。また、議会改革調査特別委員会では、議会基本条例を制定してから15年が経ち、現在の町の情勢などを加味しながら、改正を含め、協議を進めているところです。

議会基本条例は、議会における最高規範です。その考えに沿って、さらに町民の福祉向上を目指し、検証で得た課題を全議員が共有し、今後も議会改革を行う必要があると感じています。

人口減少問題調査特別委員会報告

若桜町の人口減少の実態を踏まえ、議会でも特別委員会を立ち上げました。執行部の若桜町人口減少対策プロジェクトチームと連携して、県の人口減少社会対策課担当者を招き、令和6年5月29日（水）に下記の研修を行いました。

記

1. 研修のテーマ

演 題 『鳥取県の人口減少社会対策について』

講 師 鳥取県輝く鳥取創造本部 鳥取暮らし推進局

人口減少社会対策課 課長補佐（本部総括） 大谷 武彦 氏

2. 研修内容

（1）現状分析（人口関係統計）

①若桜町人口の長期推移

・1960年をピークに減少に転じ、近年は約100人／年のペースで減少が続いている。

②若桜町の年齢区分別人口の推移

・老年人口（65歳以上）は2000年をピークに減少に転じたが、生産年齢人口・年少人口の減少により割合は増加を続けている。

③若桜町の自然減・社会減の長期推移

・自然減と社会減を合わせておよそ100人／年の人口減少が続いている。

④若桜町の自然減の推移（1995～）

・出生数を死亡数が上回る自然減の状況が継続。

・生産年齢人口の減少に伴い、近年は出生数も低下傾向。

⑤若桜町社会減の推移（1995～）

・転入を転出が上回る社会減の状況が継続。

⑥若桜町の年齢層別転入出超過の推移

・20歳代の転出超過が社会減の大きな要因となっている。

（2）鳥取県としての人口減少対策の取り組み

①少子化対策・子育て環境整備に係る取り組み

②移住・定住に向けた取り組み

③安心して住み続けられる地域づくりに係る取り組み

④若者の県内定着状況（高校卒業時）（大学卒業時）

⑤現状分析等、説明

（3）事例研究

①岡山県奈義町、長野県佐久穂町、 福島県南会津町、長野県原村

まとめ

県、並びに若桜町の実態を客観的に捉え、執行部と共通認識の基に、等身大で具体的な取り組みを提言していけるよう、特別委員会の活動を進めていきたい。



研修の様子

今年も議員座談会を開催します！

議員座談会を下記の日程で開催を予定していますが、調整が必要な場合は、各集落の希望を伺い、後日詳細をお知らせしますので、ご参加ください。

令和6年度「議員座談会」開催日程表（案）

期 日	開始 予定時間	対 象 集 落 名 等 () は予定会場		
10／7(月)	19：00	新町 (新町公民館)	山田町 (山田町公民館)	上町 (上町公民館)
10／8(火)	19：00	中町 (中町公民館)	下町 (下町公民館)	西町 (西町公民館)
10／10(木)	19：00	農人町 (農人町公民館)	三倉 (三倉公民館)	上高野 (上高野公民館)
10／11(金)	19：00	若葉団地 (若葉団地集会所)	浅井 (浅井公民館)	高野 (老人憩いの家)
10／17(木)	19：00	屋堂羅・口屋堂羅 (屋堂羅相撲館)	寺所・馬場 (馬場公民館)	あかまつ団地 (あかまつ団地公民館)
10／18(金)	19：00	内町 (内町公民館)	赤松 (赤松公民館)	来見野 (来見野公民館)
10／21(月)	19：00	諸鹿 (諸鹿公民館)	香田 (香田公民館)	長砂 (長砂公民館)
10／24(木)	19：00	湯原 (湯原公民館)	刈見・茗荷谷 (刈見公民館)	菰米 (菰米公民館)
10／25(金)	19：00	大炊 (大炊公民館)	岸野 (岸野公民館)	糸白見 (糸白見公民館)
10／28(月)	19：00	根安 (根安公民館)	須澄 (須澄公民館)	岩屋堂 (岩屋堂公民館)
10／29(火)	19：00	吉川 (寄来屋)	栃原 (栃原公民館)	中原 (中原公民館)
10／31(木)	19：00	加地 (加地公民館)	大野 (大野公民館)	小船・久曾木 (小船公民館)
11／1(金)	19：00	落折 (落折公民館)	予備	予備

わたしの思い

このコーナーでは、令和6年3月に高校を卒業され、それぞれの旅立ちを迎えられた皆さんからのご要望や率直な意見、若桜への想いを紹介させていただきます。



「環境」

ほんだ の え
本田 野笑さん（あかまつ団地）

私は今年の春に高校を卒業し、現在も若桜町で生活をしています。正直、卒業後は町外へ出て、心機一転新しい生活をスタートさせるという選択肢もありました。ですが、馴染みのある若桜町でゆったりと落ち着いた生活を送りたいと考え、卒業後も若桜町で過ごすことを決めました。私は、5歳の頃に引っ越してきてから今まで14年間、この町で過ごしてきました。この小学生から高校生の間の精神的に未熟な時期を若桜町で過ごすことが出来たことは、私にとってとても大きな財産になったと思います。特に高校生になってからは、周りの環境が大きく変化し、多くの人と関わる機会がありました。沢山の人の人に関わっていく中で、今まで優しい人々に囲まれて過ごしていたことが、どれだけ恵まれていたことだったのか、身に染みて分かりました。私が14年間の間に若桜町で出会った人達は、皆本当に素直で温かく真っ直ぐな人達ばかりでした。自然が豊かでのびのびと過ごすことのできる環境が、こういった素敵な人間性をつくり上げているのだと思います。私はそんな温かい町、若桜町で日々を過ごすことができ本当に良かったと心から思っています。これから先、様々なシチュエーションで沢山の人の人に出会おうと思います。ですが、私は心配していません。若桜町で培った経験を活かして、これからも多くの人と関わっていききたいです。そして、地元である若桜町の魅力を沢山の人の人に伝えていきたいと思っています。

意見・写真をお寄せください メール gikaidayori@town.wakasa.tottori.jp

QRコード



あとがき

今回は、「人口減少問題調査特別委員会」並びに議員検証についての記事を載せました。また、前号までの表紙には「若桜の匠」の方の紹介でしたが、今後は、より多くの方を紹介していきたいので、今号より「若桜で活躍されている方」にスポットをあてていきます。

「よりわかりやすく」「より伝わりやすい」議会だよりを目指し、レイアウト・デザインを変えています。より良い紙面作りのためにも、ご意見・ご要望をお寄せください。

（記 谷口 貴）



議会だより調査特別委員会
委員長 森田 二郎
副委員長 谷口 貴
委員 川上 守
委員 梶原 明
議長 山根 政彦